

淡路夢舞台におけるホテル等の運営事業者公募に向けた サウンディング型市場調査 実施結果概要

1 調査の目的

民間事業者と対話し、様々なアイデアや各種条件・課題等を整理するとともに、民間事業者の意欲の把握を行い、もって令和7年9月公表の「淡路夢舞台の創造的再生に向けた基本的な考え方(案)」(以下「中間報告」という。)に基づき、淡路夢舞台の一部資産を取得して運営する事業者を選定する公募に向けた基礎資料とすることを目的に実施。

2 調査の実施概要

- (1)実施期間
 - ・書面調査 : 令和7年9月18日(木)～10月31日(金)
 - ・追加ヒアリング: 令和7年11月10日(月)～12月19日(金)
- (2)調査方法
 - ・書面による質問票の回収及びオンラインによるヒアリング
- (3)参加事業者数
 - ・10社

3 主な意見・提案内容

(1)中間報告に対する意見

- ・「民間活力の導入」「資産譲渡を基本とした検討」「夢舞台としての一体的運用」という方針に賛同。
- ・施設の財政的課題を根本的に解決し、淡路島の観光ポテンシャルを最大限に引き出すための現実的かつ効果的なアプローチと評価。
- ・新しい取組(=創造的再生)を評価・選定していただける方針に期待。

(2)施設への関心状況

- ・ホテル : ○ホテルは淡路夢舞台のコアコンテンツであり、最も収益性が高い事業であることから、資産取得を前提として魅力を感じる。
- ・国際会議場 : ○ホテル部分との相乗効果が期待でき、ホテルと一体という条件で、資産譲渡に関心あり。

(3)一体的な運営を行うための連携や協議体に関する意見

- ・各事業者がそれぞれの専門性を生かしつつ、夢舞台全体のブランド価値向上という共通目標に向って協力する関係が、望ましい連携である。
- ・各事業者がほかの事業者に依存するような連携ではなく、それぞれが自立していること、また協議体で協議される「連携」が、一時的な取組ではなく、中長期的に外からの投資や人の流入が継続されて、エリア全体が自然と有機的に賑わっていくような仕組みづくりを行っていくことが重要。